

ポリス&カレッジ in KYOTO 2021

京都産業大学高畠ゼミ

テーマ

「ドライバーに対する歩行者保護の徹底方策」

目次

- ▶ 京都府の現状分析
- ▶ 現在の府警の取り組み
- ▶ 高畠ゼミの政策①
- ▶ 高畠ゼミの政策②3SB
- ▶ 設置記念セレモニー
- ▶ まとめ
- ▶ 参考文献一覧

京都府の現状分析

JAF(日本自動車連盟)による「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況全国調査2021」

- ▶全国平均は**30.6%**であり、2020年の全国平均**21.3%**と比べて**9.3%**増加している
- ▶2021年の京都府の一時停止率は**16.8%**と、全国平均を大きく下回っている
- ▶また、2020年の京都府の一時停止率は**19.9%**であり、**3.1%**下回っている

現在の京都府警の取り組み

【対運転者】

- ▶ 横断歩行者等妨害等に対する交通指導取締りの実施
- ▶ 運転免許更新時講習等における交通安全教育の推進
- ▶ 積極的な情報発信

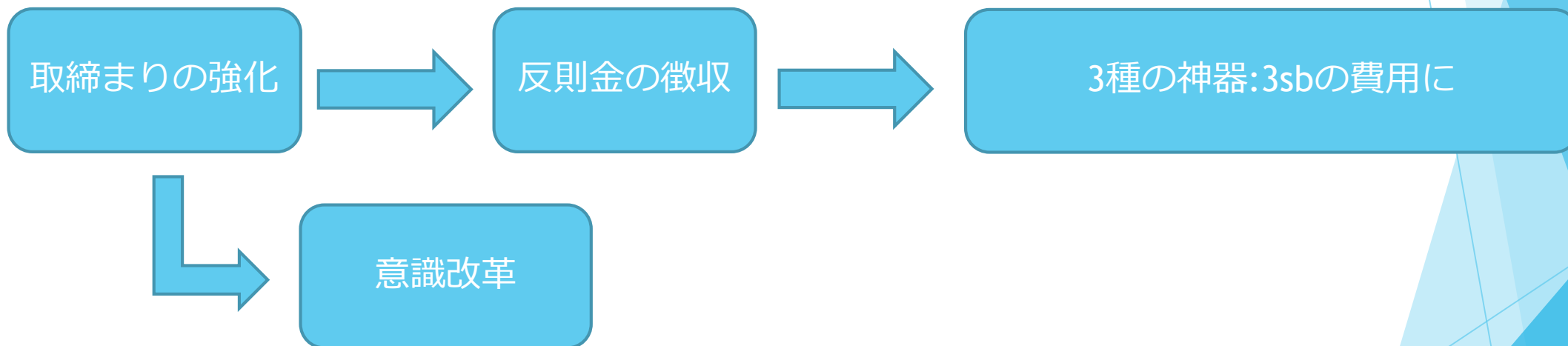


～高畠ゼミの政策～

①今までの取り組みの継続と強化
→特に取り締まりの強化

②三種の神器（3 SIGN BOARD）

①今までの取り組みの継続と強化



第1の神器：パト看板

パト看板とは・・・

- ▶株式会社カワスミにて制作されているパトカーや警察官に見えるような看板
- ▶看板の一部に**反射材**を取り入れており、昼間は交通安全の看板として機能していて夜間は警察やパトカーがそこにいるような認識を与えることができる
- ▶素材は軽量で耐久性があり防水性に優れているガルバリウム鋼板が使用されている



第1の神器：パト看板

特徴

- ▶ 業者に委託するだけで即実現するので実効性が高い
- ▶ 既製品ではあるが運用しているところが少ないため、目新しく効果も期待できる
- ▶ 昼だけでなく、交通事故の多い18時～20時の帰宅時間や夜にも効果を発揮し、**24時間持続した違反防止効果**がある
- ▶ 軽量であるため、移動も可能で定期的に場所を変えることでより長い期間効果の継続が可能
- ▶ 既に導入されている千葉県勝浦警察署では設置後の約4年間（平成20年から平成24年10月）で**交通死亡事故ゼロ**を記録しているためその効果も期待できる

第2の神器：命のメッセージ看板（交通バージョン）

命のメッセージ展とは・・・

▶殺人、交通事犯、いじめ、医療過誤等により、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役＝メッセンジャーとなり、未来の命を守るためのメッセージを伝えるアート展であり、「命の重さ・尊さ」を訴えます。

▶交通安全に特化したものを令和4年度の京都産業大学の学祭として、高畠ゼミで実施



「生命(いのち)のメッセージ展」とは

殺人・悪質な交通事犯・いじめ・医療過誤・一気飲ませなどの結果、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。
「命の重さ、尊さ」を訴え、犯罪のない社会を創造し、未来の命を守ることを目的としています。
犠牲者の発する声なきメッセージを受け止めてください。



メッセンジャーとは

犠牲者の等身大の人型パネルです。生前の写真とメッセージ文を添え、足元に遺品の「靴」（足跡＝生きた証）を置いていきます。無念にも命を喪い、生きたくても生きられなかった犠牲者からの「未来につながる命」を守るためのメッセージを聞いて、感じてください。



電子紙芝居「まおちゃんの新しい靴」

亀岡市で集団登校中の小学生の列に車が突っ込み、児童2人と保護者の女性が死亡、児童7人が負傷した事故は発生から5年を迎えました。児童のご遺族が事故の悲惨さを訴える講演を続けておられますが、子どもが巻き込まれる事故はなくなりません。そんななか、遺族の講演を聴いた岡山市の山陽学園大学の学生たちが、亀岡の事故をモチーフにした紙芝居を作り上演を始めました。



犯罪被害者等支援シンボルマーク「ギョuttoちゃん」

同時開催! **京都ヒューマンフェスタ2017**
テーマ：「認め合おう みんなの輝き 共生社会」

NPO法人等人間関係団体活動紹介（ステージ・展示）、人権擁護啓発ポスターコンクール表彰式・展示会、トークショー①：KONISHIKI氏②：佐野有美氏、それいけ！アンパンマンショー、映画「この世界の片隅に」上映会、NPO共同企画コーナー（絵本のひろば・民族衣装体験・フードコート・ホッチャ体験）、ユニバーサルデザイン体験コーナー、人権特設相談コーナー等

看板作成～運用までの流れ

▶学祭終了後、作成した看板を京都府警に譲渡

▶それを**信号機のある横断歩道**に設置→信号機のある横断歩道に設置することで、停止した運転者が目にし、歩行者保護、命の大切さを伝えることができる



* 学祭イメージ



* 看板設置イメージ

第3の神器：血を流す看板



血を流す看板とは..

▶雨天時における事故率が高かった
ニュージーランドのとある道路で、事故
を防止する目的で設置された看板

▶常に血が流れているわけではなく、雨
が降ることによって、赤色のインクが数箇所か
ら流れるしくみ

▶ドライバーの心に訴えかけるデザイン

→設置後、死亡事故は「0」に

*実際にNZで設置された看板

第3の神器：血を流す看板



※イメージです

第3の神器：血を流す看板（最終妥協案）



※イメージです

横断歩道のトリックアート化(昨年度の施策案)

- ▶ 目の錯覚を利用して「二次元」の横断歩道を「三次元」に見える横断歩道に変革
 - 車の減速
- ▶ 「歩行者優先」と飛び出すように製作
 - 意識改革
- ▶ 製作費用は反則金から賄う

- ▶ 反則金で作られた、トリックアート横断歩道で**設置記念セレモニーの実施**



設置記念セレモニー

▶トリックアート横断歩道の「渡り初め式」が昨年8月30日に実施
多くのメディアに報道された

▶TV報道

→NHK、関西テレビの「報道ランナー」、MBSの「よんちゃんTV」

→報道機関の関連YouTubeでは延べ**18万**回再生（令和4年1月31日現在）

▶新聞記事、ネット記事

→読売新聞、日本経済新聞、千葉日報、読売新聞オンライン、朝日新聞デジタル、SankeiBiz、AFP通信（AFPBB News）、北海道新聞、河北新報、新潟日報、紀伊民報、沖縄タイムス、Infoseek、BIGLOBE、excite、@nifty、Cnet、ZDnet、インターネットコム、とれまが、財經新聞、Mapion、物流新時代



メディアが報道することにより、より早くそして広範囲に交通安全の問題や意識と言うものを伝える事が出来る

まとめ

- ・ 既に行っている取り組みの強化
- +
- ・ 三種の神器（3 SIGN BOARD）



今年のドライバーに対する歩行者保護の徹底方策

参考文献

・ JAF「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況全国調査」(2021年調査結果)

<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/library/survey-report/2021-crosswalk>

・ JAF「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況全国調査」(2020年調査結果)

<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/library/survey-report/2020-crosswalk>

・ パト看板・交通安全看板・交通事故防止 株式会社カワスミ パト看板の種類

<https://pato-kanban.net/kinds.html>

・ パト看板・交通安全看板・交通事故防止 株式会社カワスミ パト看板とは

<https://pato-kanban.net/about.html>

・ 京都市：「生命のメッセージ展 in 京都」の開催について

<https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000290113.html>

・ 雨が降ると血が滴る交通安全の看板@NZ

<https://www.gizmodo.jp/2009/07/nz.html>

ご静聴ありがとうございました